



人と自然と産業の調和 みんなできつくる元気な幸田

9月の例会 あまし

9月定例会は、9月4日に招集され、9月30日までの27日間の会期で開かれました。

財政健全化判断比率の報告1件、人権擁護委員をはじめ人事案件3件、町の基本構想を定める議案など単行議案13件、補正予算9件、平成26年度決算認定9会計の議案が上程され、すべて可決・認定しました。

そのほか、陳情7件を審議し、2件を採択、5件を不採択としました。議員提出議案2件が提案され、可決しました。

一般質問は、9人が町政全般にわたる課題をたしました。

10年間の基本構想

平成28年度から平成37年度までの将来像を定めた「第6次幸田町総合計画」の基本構想を策定。

10年間の将来人口目標は4万2000人。まちづくりの理念「人と自然と産業の調和」と将来像「みんなできつくる元気な幸田」を定め、6本の基本目標①安全・安心②環境③産業振興④健康・福祉⑤教育・文化⑥協働・参画を推進していく。

Q 住民からの意見は、
A まちづくりアンケートと、パブリックコメントを実施して幅広く聞いた。(反対2賛成13で可決)

6小学校のパソコン更新

情報教育の推進と学習環境の整備を図るため、6小

学校のコンピュータ室機器の更新・デスクトップ246台を購入。今年度で整備完了する。

- ・契約金額3121万円
- ・契約の相手方
(有)東京理科器
(全員賛成で可決)

岡崎市斎場の利用料が5万円に

岡崎市斎場利用の事務委託を平成28年5月31日廃止する。

Q 利用料はどう変わるか。
A 4000円が5万円に。新斎場の窓口に直接支払いをする。
(全員賛成で可決)

消防司令センターを岡崎市役所内に設置

岡崎市・幸田町共同の消防司令センターを共同通信課とし、町職員を4人派遣する。予算、決算、監査な

マイナンバー制度はじまる

10月5日から、一人ひとり12ケタの個人番号が決まる。それに伴い関係する条例の制定と一部改正。

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定
行政運営の効率化を図り、町民の利便性の向上のため。
(反対2賛成13で可決)

Q 指揮命令権は誰か。
A 両市町の消防長である。
(反対2賛成13で可決)

個人情報保護条例の一部改正

特定個人情報を通常より厳格な保護措置とする。

Q 個人情報の流出・漏えいは大丈夫か。
A 専用回線で管理する。
(反対2賛成13で可決)

手数料徴収条例の一部改正

マイナンバーの通知カードの再交付手数料は500円、個人番号カードは800円とする。
(反対2賛成13で可決)



一般会計補正予算

岡崎市幸田町 消防指令業務

債務負担行為

2億7772万円

Q 経費の内訳は。

A 平成28年度で実施設計

で320万8000円。

平成29年度で整備工事費

2億7273万5000

円、施工監理で177万

9000円。

(反対2賛成13で可決)

次世代産業 創出事業

5000万円

低温プラズマ技術新産業

創生事業として名古屋大学

に委託する。

Q 新産業とは。

A 低温プラズマを活用し

てパートナー企業などで

商品化し住民に還元する。

(反対1賛成14で可決)

人事案件

人権擁護委員

三浦敏男氏(深溝学区)

宇都野昭男氏(荻谷学区)

都築民子氏(幸田学区)

(全員異議無しで答申)

固定資産評価審査委員

伊藤学氏(桜坂区)

(全員賛成で同意)

教育委員会委員

中根晃氏(荻谷区)

(全員賛成で同意)

平成27年度幸田町一般会計・特別会計 9月補正予算と採決結果

会計名		補正額	補正後の額	採決
一般会計	(第2号)	1億7910万円	140億6910万円	反対2：賛成13で可決
	(第3号)	5000万円	141億1910万円	反対1：賛成14で可決
特別会計	土地取得	2146万円	4427万円	全員賛成で可決
	国民健康保険	3494万円	37億2570万円	全員賛成で可決
	後期高齢者医療	▲100万円	3億1067万円	全員賛成で可決
	介護保険	2839万円	17億7313万円	全員賛成で可決
	幸田駅前土地地区画整理事業	財源更生(0)	3億6972万円	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	財源更生(0)	3億8859万円	全員賛成で可決
	下水道事業	財源更生(0)	7億5556万円	全員賛成で可決

議員提出議案

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
(反対1賛成14で可決)

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
(全員賛成で可決)

陳情

- 幸田町文書取扱規程第32条(9)に定められた文書索引目次等及び同規程第33条第1項に定められた保存文書目録が適正に作成されるようにしてください。また、どのような公文書がいつ廃棄されたかを具体的に記載する廃棄文書目録が適正に作成されるようにしてください。
陳情者 清水 淳
(反対13賛成2で不採択)
- 幸田町情報公開条例による開示対象範囲を現行の平成12年4月1日以降から愛知県並みの昭和61年4月1日以降に広げ、それ以前についても愛知県並みに任意開示の規定を設けてください。
陳情者 清水 淳
(反対13賛成2で不採択)
- 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書
陳情者 武石幸一
(反対13賛成2で不採択)

- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情者 武石幸一
(反対13賛成2で不採択)
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情者 武石幸一
(反対1賛成14で採択)
- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書
陳情者 幸田町教員組合 執行委員長 岩下英司
(全員賛成で採択)
- 戦争法案といわれる、安全保障体制の見直しを行わないよう国に意見書の提出を求める陳情書
陳情者 西三河地域労働組合総連合 議長 足立勝彦
(反対13賛成2で不採択)

平成26年度
決算

景気回復、町税増収 10億円の黒字に

今 定例会は、平成26年度の決算を審議するため、決算特別委員会を設置し、一般会計、特別会計、水道事業会計を慎重に審議した結果、原案どおり認定しました。

歳入 は、納税義務者数の増加、景気回復などにより町税全体として、平成25年度比7億6160万円増加しました。これにより当初予定していた財政調整基金を10億7771万円減額し、土地取得特別会計繰入金5867万と合わせ1億4139万円の繰入金になりました。

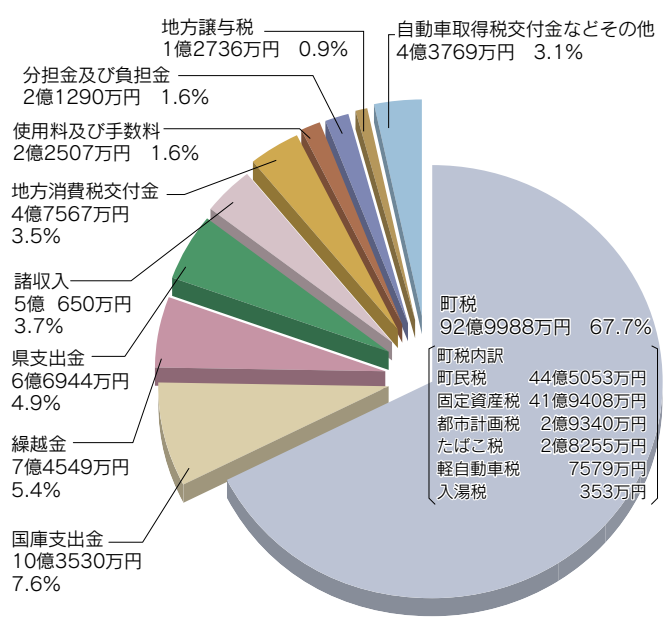
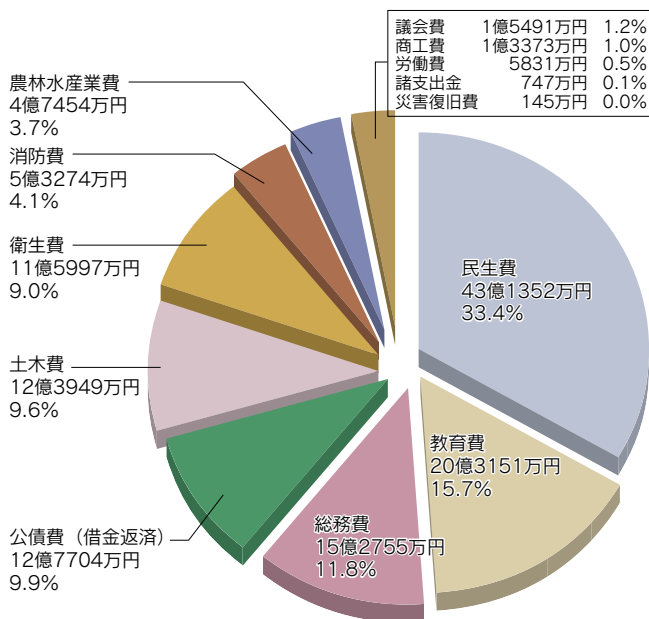
歳出 では、中央小学校地庫整備に借入れしました。震補強・大規模改造、町道長嶺1号線舗装、里前・沢渡公園トイレバリアフリー化、芦谷住民広場と大草保育園駐車場用地取得、斎場建設負担金などの事業が実施されました。

なお、平成26年度の決算総額は、一般会計（円グラフのとおり）と特別会計を合わせて、歳入203億194万円、歳出192億8604万円で、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は、10億1376万円の黒字となりました。

一般会計の決算額

歳出 129億1223万円

歳入 137億3530万円



採決（反対2：賛成13で認定）

平成26年度
決算審査意見書

監査委員

山下 力
池田 久男

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正であると認められた。

平成26年度決算では、法人町民税などが増加し、町税及び歳入全体としても増収となった。財政指標においても健全性が向上しているなど、リーマンショック前に並ぶ状況と見受けられる決算内容であった。しかし、今後は行財政運営も先行き不透明な状況が続くものと見込まれるため、質の高い住民サービスを持続的に提供するために、新たな財源確保に努められ、事務事業の効率化や行財政運営手法の見直しなどに一層努力されることを望むものである。

2日間にわたり集中審議

主な質疑

- Q** 法人町民税の変動が激しい。財政運営は。
- A** 平成22年度を底にあらがってきている。財政調整基金で対応する。
- Q** 固定資産税の課税状況で、田畑が減少している。
- A** 区画整理事業などで減少した。
- Q** 深溝小学校の第7投票所は段差・階段で使いづらく投票率が低下している。場所替えを。
- A** 移動する場所がなく、むずかしい。
- Q** 防犯灯のLED化を。
- A** 675基がLED化、今年度末にすべてLED化する。
- Q** 保育料の第2・3子減免は同時入所枠からはずすべきではないか。
- A** どう扱うか課題である。
- Q** 児童クラブの待機児解消と6年生まで受入れを。
- A** 来年度、豊坂小学校で増設する。6年生まで受入れしていく。
- Q** ごみ袋が高い。引き下げを。
- A** 現状で理解願いたい。
- Q** 大草大井池の観光便所看板は、トイレが観光か。
- A** 大井池管理組合からの希望で名付けたもの。
- Q** 斎場で通夜から告別式まで家族葬ができるよう計画変更を。
- A** 夜間管理がむずかしい。
- Q** 町道の舗装が悪くガタガタである。全面改修を。
- A** 平成26年度は7000万円だが、悪い箇所は部分補修している。
- Q** 大日蔭グラウンド利用料金を町内外で区分けを。
- A** 分ける考えはない。
- Q** 学校給食の質を落とさず提供を。
- A** 平成21年から給食費をすえ置き、デザートを工夫し単価を下げている。消費税が10%になった時やれるか考えたい。
- Q** 学校でケガした時は日本スポーツ振興センターの活用を。
- A** 平成26年度は341件の給付実績がある。活用している。
- Q** 農業集落排水の汚水管を公共下水道に接続を。
- A** 段階的に公共下水道に取り組んでいく。

主な事業成果

中央小学校地震補強・大規模改造	3191万円
横落住宅外壁断熱化整備	3078万円
里前・沢渡公園トイレバリアフリー化	1722万円
道路整備(生活道路整備)	7063万円
荻谷住民広場用地取得	3600万円
大草保育園駐車場用地取得及び整備	5268万円
蒲郡市幸田町新斎場建設負担金	4335万円
町道長嶺1号線舗装	2517万円

反対

丸山千代子議員

財源は住民福祉にまわらせる

8億2000万円の黒字を生み出し、5つの基金合計は37億4600万円。財源不足に対応するとしても充分、住民福祉にまわらせる。社会保障の給付抑制と負担強化のマイナンバー制度導入をすすめる。名鉄バス廃止で交通の空白に対応もしない。高齢者福祉タクシー助成を。予算がないと切り捨てるのではなく、暮らし、福祉増進に振り向けるべきである。

反対

伊藤宗次議員

的確な財源つかまず仕事せず

法人町民税大幅減収を強調し当初予算で12億3000万円計上し、9月補正予算で7億6000万円追加し、過去最高に並ぶ約93億円の町税。財源を意図的に隠す姑息さ。Aコープ撤退で町補助金約2500万円返還不用だと企業支援の一方、県下で2番目に高いごみ袋代の押しつけなど、豊かな財政力を町民の暮らし支援に活用しない町政である。

賛成

稻吉照夫議員

NHKの自慢放送など評価

平成26年度は、消費税の税率引き上げにより、景気回復が心配された。結果、決算額は、137億3529万円となり、当初予算に対し、約6億1529万円余の増収。これは企業業績の回復と町民の頑張りの成果。町村合併60周年の節目であり、記念事業としてNHKのご自慢放送は、町民の大きな反響と町外へのPR効果もあったと考える。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名		歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得	8061万円	6016万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	32億8769万円	32億125万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療	3億113万円	3億112万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険	15億3884万円	14億8223万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前地区画整理事業	2億788万円	1億9955万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	3億8070万円	3億7082万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業	7億6980万円	7億5867万円	反対2：賛成13で認定
企業会計(税抜き)	水道事業会計	収益的収支	7億5825万円	6億9262万円
		資本的収支	2億3761万円	3億6705万円